



## DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

### 決勝レポート

#### 2025/3/8 Rd-1 鈴鹿サーキット

天候：曇り/晴 気温：11℃ 出走台数：22 台

2025 年全日本スーパーフォーミュラ選手権開幕を迎えた鈴鹿サーキットは、昨日までの強い北風も止み、太陽がのぞくと暖かさを感じるコンディション。

8 日の開幕戦は 27 周で争われ、レース距離は昨シーズンより短くなり、タイヤ交換は昨シーズン同様スタートから 10 周目以降のタイヤ交換義務有のレースフォーマットで開催される。

共に 2 列目スタートの太田選手と牧野選手は、3 番手と 4 番手のポジションキープで 1 コーナーへ。その後方では NIPPO コーナー出口でクラッシュが発生し、オープニングラップからセーフティカー（以下 SC）導入となる。レースは 5 周目にリスタートとなったが、今度は 8 周目の S 字コーナーでクラッシュが発生し再び SC 導入。SC 先導のまま 10 周終了しピットウィンドウが開くと全車がピットイン。チームはまず太田選手、そして牧野選手の順でダブルストップを行う。ピットクルーは太田選手をコースに送り出し、牧野選手のタイヤを交換するその時、牧野選手のエンジンがストールしてしまい大きくタイムロス。最後尾でコースに戻る事となった。

2 番手でコースに戻った太田選手は、14 周目の 1 コーナーで首位 岩佐選手をオーバーテイク。3 度目の SC 導入後も、第 2 第 3 セクターでベストタイムを記録し、オーバーテイクシステムもコントロールしながらそのままトップチェッカーを受け、24 シーズンに続く鈴鹿 3 連続優勝を飾った。

最後尾となった牧野選手は、諦めることなくポジションを上げ、10 位フィニッシュ。貴重なポイントを獲得した。

#### 5：牧野任祐 選手 10 位

スタートも良く前半ペースもよかったのですが、セーフティカーのタイミングがすべてだったと思います。ピットストップ時のエンジンストールは、エンジン制御との兼ね合いもあったようなので、原因解析と対策を進めます。エンジンストールがなければ、より多くのポイントを獲得できたと思います。予選ポジションを生かすことが出来なかったのが残念です。明日は風向や気温など環境が変わりますし、レースフォーマットも違うので、本来のパフォーマンスでレースできるよう準備をします。

#### 6：太田格之進 選手 優勝

予選ではうまくまとめ切れませんでしたが、決勝ではライバルをコース上でオーバーテイクし、レースマネジメントもしっかりとでき、チームとドライバーの強さを証明することが出来たと思います。

開幕戦を優勝でスタートできたことが嬉しいですし、明日もこのペースを維持して開幕 2 連勝出来たら最高ですね。